

令和2年度
学校自己評価報告書

新潟こども保育カレッジ

令和2年4月30日

1. 教育理念・目標・人材育成像等

(1) 自己評価結果

| 評価項目 | 評価 |
|--|----|
| 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか | 4 |
| 学校の理念・目的のもと、特色ある職業教育が行われているか | 3 |
| 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 3 |
| 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者等に周知されているか | 3 |
| 各学科の教育目標、人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 4 |

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・教育理念、目標、人材育成について、現場に応じた設定がなされている。
- ・「学生の手引き」を作成し、生徒、保護者に配付し、周知している。

(3) 今後の課題等

- ・生徒数もこれまでと比較し、多くなっており、より多様化する生徒への対応の確立が必要である。

2. 学校運営

(1) 自己評価結果

| 評価項目 | 評価 |
|---|----|
| 目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 |
| 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 3 |
| 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか。また、有効に機能しているか | 4 |
| 人事、給与に関する規定等は整備されているか | 4 |
| 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 |
| 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 3 |
| 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 3 |
| 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3 |

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・運営方針、事業計画は教育目標に沿って作成・運営されている。
- ・人事、給与は法人の定める就業規則、その他諸規定によって定められている。
- ・学校のホームページにおいて、情報公開を行っている。

(3) 今後の課題等

- ・情報システムの利用により、業務の効率化やペーパーレス化などを更に進めてほしい。

3. 教育活動

(1) 自己評価結果

| 評価項目 | 評価 |
|---|----|
| 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 |
| 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 |
| 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 |
| キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 |
| 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 3 |
| 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ・実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 4 |
| 授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 |
| 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 3 |
| 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4 |
| 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4 |
| 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 3 |
| 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか | 4 |
| 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか | 3 |
| 職員の能力開発のための研修等が行われているか | 3 |

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

(2) 現状

- ・保育現場で必要とされる専門知識と保育実践力を育むため体系的なカリキュラムを編成しているが、昨今のコロナウイルス感染拡大防止対策を強化する中で実践的な職業教育につながる学びが行えなかった。

系列校の専門教員より、社会福祉分野・心理学分野等の保育の関連分野の学びは充足したものであったといえる。幼児教育一元化に伴い、幼稚園教諭免許取得のための短大との教育連携を行っているが、学生の学修状況は良好である。

(3) 今後の課題等

- ・上記のような止むを得ず、教育を縮小せざるを得ない状況は続くが、認可養成施設として、保育の専門知識や保育技術を習得し、資質向上を目指した授業内容を保障することが課題となる。職員同士の資質の向上・能力開発が図れるよう、他分野の教員を交えての研修機会を持つなどしていく。

4. 学修成果

(1) 自己評価結果

| 評価項目 | 評価 |
|--------------------------------------|----|
| 就職率の向上が図られているか | 2 |
| 資格取得率の向上が図られているか | 4 |
| 退学率の低減が図られているか | 4 |
| 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか | 4 |
| 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか | 4 |

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

(2) 現状

- ・入学時より卒業時までの2年間にわたり、キャリア教育授業を設け、社会に出るに要するマナーや就業の制度他の教育を行っている。
- ・認定こども園協会主催の情報交換会への参加、ハローワークへの定期的な連絡連携、新潟市こども未来部保育科主催の学生への講座開催など、現状の保育士へのニーズや雇用状態・条件の把握など学生に保障できるよう努めている。
- ・職業インタビューとし、新潟市内の子育て支援施設や児童館などへの訪問を課外活動として実施、学生に保育士職のニーズを学ぶ機会が持てるような試みを行った。

(3) 今後の課題等

- ・今後は、学生の希望の就職先など把握し、求人される社会福祉法人や学校法人の獲得に努めたい。保育実習の実績がある園とは、今後も実習先・就職先として連携を継続できる関係づくりをしていく。

5. 学生支援

(1) 自己評価結果

| 評価項目 | 評価 |
|---|----|
| 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 |
| 学生相談に関する体制は整備されているか | 4 |
| 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 |
| 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 |
| 課外活動に対する支援体制は整備されているか | 3 |
| 学生の生活環境への支援は行われているか | 4 |
| 保護者と適切に連携しているか | 4 |
| 卒業生への支援体制はあるか | 3 |
| 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 |
| 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 3 |

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・様々な背景を持つ学生がいるが、奨学金の情報提供や学生相談室の設置などの、学生個々への配慮・個別指導ができる教育環境は整えられている。
- ・クラス担任制を導入しており、学生への個別の配慮には留意しており、特にアパート・学生寮に居住する親元を離れて生活する学生には、心身の状態への配慮も欠かさない。
- ・必要に応じては、支援が必要な学生の保護者とは継続的な連携を行う体制にある。
- ・生涯を生きる力を育むべく、就職課職員のキャリア教育授業を入学時から2年の在学中行い、社会人教育の取り組みを行っているが、コロナ渦の影響で、講演会や講座等の予定が実施不可となっている現状である。

(3) 今後の課題等

- ・コロナウイルス感染拡大防止のため、長期休暇及び連休後のリモート授業を実施しているが、この学習環境は、精神的バランスを崩す要因にもなり得るので、そういった際でも学生とのコミュニケーションの保持や能動的に学べる授業内容等を検討する必要がある。
- ・就職支援については、昨今就職面接や説明会がweb開催主流となりつつある。求人情報等が学生に確かに届くよう配信にするなどし、学生に有益な情報提供を行わねばならない。
- ・コロナウイルス感染拡大防止のため縮小しているが、今後も保育士職の魅力を認知してもらえるよう高校・中学校の職業体験授業などを積極的に行いたい。

6. 教育環境

(1) 自己評価結果

| 評価項目 | 評価 |
|--|----|
| 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 |
| 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか | 3 |
| 防災に対する体制は整備されているか | 3 |

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・設備については、コロナウィルス感染拡大対策として行った遠隔授業に実施に伴い必要とされる機器設備や授業教材や資料の配信環境を十分に整えた。また学校での授業は、密にならない環境で授業が受けやすいようスクリーンと大型テレビで学びやすい環境を整えた。
- ・保育士養成に必要な保育現場での学びは、同法人の認定こども園との連携の基保障されているが、コロナウィルス感染拡大予防対策のため縮小している。
- ・保育実習及びインターンシップの活動先は、保育園・幼稚園・認定こども園・社会福祉施設と多様な連携先を獲得している。
- ・避難訓練（火災・地震）の計画と実施や防災計画・避難誘導順路、凶他の整備は定期的に行っている。

(3) 今後の課題等

- ・防災計画の整備の他、コロナウィルス感染防止対策として、衛生・安全についての対策の検討や綿密なマニュアルの検討、作成が課題である。PDCAサイクルで常に万全な危機管理の体制を保持することが課題である。
- ・学外の実習、インターンシップ先は、更に拡大していけるように保育実習先との連携関係を継続し、就職連携先としての実績作りにつなげていく。

7. 学生の受け入れ・募集

(1) 自己評価結果

| 評価項目 | 評価 |
|-----------------------------|----|
| 学生募集活動は適切に行われているか | 4 |
| 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4 |
| 学納金は妥当なものとなっているか | 4 |

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

(2) 現状

- ・学校案内用パンフレット・募集要項やHPを作成し、入学希望者へ各種教育成果などの最新の情報提供を行っている。
- ・オープンキャンパスはコロナ禍を鑑み来校型に加え、web型オープンキャンパスの充実を図るなど、時勢に応じた募集方法の対策を講じて学校の理解を深めてもらっている。

(3) 今後の課題等

- ・特になし。

8. 財務

(1) 自己評価結果

| 評価項目 | 評価 |
|--------------------------|----|
| 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか | 3 |
| 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 |
| 財務について会計監査が適切に行われているか | 4 |
| 財務情報公開の体制整備はできているか | 4 |

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・安定的な財務基盤となるよう中長期の収支計画を立てており、適切に執行されている。
- ・外部からの会計監査も適切に受けている。

(3) 今後の課題

- ・安定的な入学生の確保に力を入れ財政基盤をより安定させる。

9. 法令等の遵守

(1) 自己評価結果

| 評価項目 | 評価 |
|-------------------------------|----|
| 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 |
| 個人情報に対し、その保護のための対策がとれているか | 4 |
| 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 3 |
| 自己評価結果を公開しているか | 3 |

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・令和元年度から、ホームページ上に自己評価を公開している。
- ・国・県・市への報告を滞りなく適切に行っている。

(3) 今後の課題等

- ・自己評価から課題解決へ向けてスムーズにつながるようにする。

10. 社会貢献・地域貢献

(1) 自己評価結果

| 評価項目 | 評価 |
|---|----|
| 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 |
| 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 3 |
| 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 2 |

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・コロナ禍ということもあり、現在は積極的に社会貢献、ボランティア活動を勧めていないが、受け容れの準備は整えている。
- ・感染対策の実施を確認したうえで、県内の中学校からの上級学校訪問の依頼については、受け容れ体制は整えている。

(3) 今後の課題等

- ・コロナウイルス感染の状況を見ながら、臨機応変に社会貢献、ボランティア活動を行っていく。
- ・今後は、子育てや他の内容として、地域の一般の方々に有益になるような講座の実施も検討したい。
- ・現在、中断している地域の小学校でのボランティア活動や地域のボランティア活動など再開した際には、臨機応変に取り組んでいきたい。